

**平成30年度主な実施内容及び今後の取組予定
岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会**

岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会 青森市 平成30年度主な実施内容及び今後の取組予定

【平成30年度の主な実施内容】

- 防災活動拠点施設とバックアップ施設の機能強化
 - ・中学校を防災活動拠点施設のバックアップ施設に新たに位置付け、備蓄物資を配備

【浪岡地区の設置状況】

防災活動拠点施設：6施設（小学校6）
バックアップ施設：2施設（公民館1・中学校1）

○避難所標識板の更新

- ・防災活動拠点施設やバックアップ施設等に整備している市街地表示式避難地案内板を、災害対策基本法に基づく「指定避難所」及び「指定緊急避難場所」であることを示す避難所標識板に更新



【浪岡地区の設置状況】

7施設（小学校6・公民館1）

○青森市総合防災訓練の実施（平成30年10月13日）

- ・平成29年3月に改訂した「洪水ハザードマップ」を活用し、浪岡川の水位上昇に伴う避難指示発令を想定した訓練を実施

【令和元年度の主な取組予定】

○防災行政無線のデジタル化

- ・令和4年（平成34年）11月30日をもって、旧スプリアス規格の無線機が使用できなくなることから、防災行政無線を『IP無線/デジタルMCA無線一体型』に更新



【浪岡地区の配備台数】

22台（予定）

☆IP無線

→携帯電話会社のインターネット回線を利用する業務用広域無線

☆デジタルMCA無線

→通信サービス提供事業者がネットワーク設備等を設置し、民間企業や地方自治体等が業務用に無線チャンネルを共有して使用するシステム

○新たな洪水浸水想定区域図に伴う避難所指定の見直し

- ・平成30年度に青森県が策定した十川・浪岡川流域における洪水浸水想定区域図により、新たに洪水浸水想定区域となった避難所の指定見直しを行う。

○要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進

- ・避難計画未作成施設に対する作成・訓練実施に向けたフォローアップを継続実施

岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会 弘前市 平成30年度主な実施内容及び今後の取組予定

【平成30年度の主な実施内容】

- 岩木川浸水想定区域内の避難場所3箇所に看板を設置
- はるか夢球場へ水防資機材等の配備
- 水害を想定した市の総合防災訓練を実施（実施訓練は、消防団による土のう積等の水防実動訓練、県防災航空隊・消防事務組合・陸上自衛隊による岩木川水難救助訓練、当市長⇄青国事務所長間のホットライン確認訓練）
- 緊急指定避難場所、指定避難所の広報誌への掲載
- Jアラート新型受信機を導入
- 小中学校を対象とした防災教育の実施



平成30年度弘前市総合防災訓練（岩木川水難救助訓練）



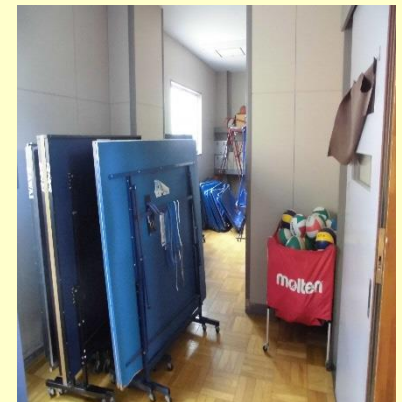
指定緊急避難場所の設置看板（※平成30年度設置）

【令和元年度の主な取組み予定】

- 岩木川浸水想定区域内の避難場所2箇所に看板を設置予定
- 県管理河川の浸水想定発表後
 - ・新たな洪水ハザードマップの作成着手（作成・配布完了は令和2年度を予定）
 - ・想定最大規模を反映させた避難対象地区と推定避難者数、指定緊急避難場所、指定避難所の抽出
 - ・浸水想定区域内にある要配慮者施設の再確認及び、関係所管課と連携し、避難確保計画作成・避難訓練実施について指導
- 市町村の枠を超えた広域避難を考慮し、近隣の市町村との連携を強化
- 備蓄品の指定避難所（市内小中学校）への配備検討



現行の洪水ハザードマップ（岩木川右岸版）



指定避難所（市内小中学校）の備蓄品保管候補場所

岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会 黒石市 平成30年度主な実施内容及び今後の取組予定

【平成30年度の主な実施内容】

- ・市内の自主防災組織が行う普及啓発活動及び防災資機材等の整備に対し、災害対策費の一部(上限1団体5万円)を助成し、地域の自主防災組織の取組み強化を図った。
- ・土嚢など災害時に必要となる物資の備蓄を行った。
- ・平成30年度において、新たに自主防災組織1団体が設立され、市総合防災訓練において実動訓練を実施し、災害に対する意識の高揚を図った。



【令和元年度の主な取組み予定】

- ・市内の自主防災組織が行う普及啓発活動及び防災資機材等の整備に対し、災害対策費の一部(上限1団体5万円)を助成するほか、防災士養成のための経費を一部助成(上限1団体5万円)する事業を新規で実施し地域の自主防災組織の取組み強化を図る。
- ・土嚢など災害時に必要となる物資の備蓄を前年度に引き続き実施する。

五所川原市 平成30年度主な実施内容及び今後の取組予定

【平成30年度の主な実施内容】

- ・ 防災拠点機能の整備
5月7日開庁の市役所新庁舎に災害対策本部室を整備
また、併せてJアラート受信機を新型へ移行
- ・ 市災害対策図上訓練の実施
県防災危機管理課の全面的な協力により、風水害を想定した災害対策図上訓練をH31.1.9に実施



※写真は市災害対策図上訓練の様子

- ・ 要配慮者利用施設の避難確保計画作成に係る講習会の実施
国土交通省がH29に立ち上げた「講習会プロジェクト」の対象となり、座学方式とワークショップ方式を用いた講習会をH30.9月に実施
計画策定状況は対象となる123施設中 **84** 施設
(講習会前は35施設)

【令和元年度の主な取組み予定】

- ・ 水害に対する危機管理能力向上研修
(トップフォーラム) への参加
5月23日砂防会館で開催の研修に佐々木市長が参加



※写真はトップフォーラムの様子

- ・ 市災害対策図上訓練の実施
H30年度に引き続き実施予定 (想定、時期を検討中)
- ・ 防災行政無線整備事業 (2箇年事業)
R1(H31)年度は市浦地区、次年度に金木地区の防災行政無線を整備予定
- ・ 防災専門部署の新設
災害対応、防災の体制を強化するため、R1(H31)年度から**防災管理室**を創設し、五所川原地区消防事務組合から当室へ職員を派遣

岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会 つがる市 平成30年度主な実施内容及び今後の取組予定

【平成30年度の主な実施内容】

- ・ 町内会ごとに新規設置される自主防災組織（水防活動含む）の資機材購入費の一部（上限50万円）を助成し、地域の自主防災組織の取り組み強化を図った。
- ・ 関係機関と連携し、地域住民や水防団員とともに危険個所の確認等を実施した。（合同巡視）。
- ・ 水防工法訓練において水防団の水防技術の向上を図った。



※平成30年度岩木川水系重要水防合同巡視
重要水防箇所の現地説明の様子

【令和元年度の主な取組み予定】

- ・ 町内会ごとに新規設置される自主防災組織（水防活動含む）の資機材購入費の一部（上限50万円）を助成し、地域の自主防災組織の取り組み強化を継続する。
- ・ 要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練を促進する。
- ・ 防災教育や防災知識の普及のため出前講座等を活用した講習会を実施する。
- ・ 関係機関と連携し、地域住民や水防団員とともに危険個所の確認等を実施する（合同巡視）。
- ・ 水防工法訓練において水防団の水防技術の向上を図る。

岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会 平川市 平成30年度主な実施内容及び今後の取組予定

【平成30年度の主な実施内容】

【総合的避難所運営訓練】

9月4日開催の青森県総合防災訓練において、平川市避難所運営マニュアルに基づき発災初期～中期を想定した総合的避難所訓練を実施し、地域住民の意識高揚及び関係機関との連携を確認した。（参加者数 約150名）



【市内小学校を対象とした防災教育】

1月17日、市内小学校（竹館小学校）を対象に、教育施設の避難所機能及び風水害等発災時の備えをテーマとした防災講演会を実施し、児童及び学校管理者に対する防災意識の高揚を図った。（参加者数 約100名）

【防災無線戸別受信機の配備】

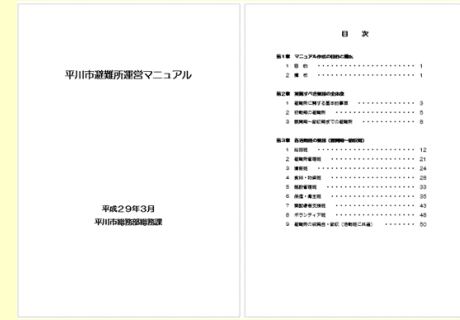
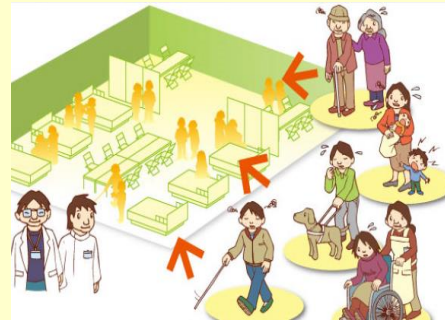
要配慮者施設に防災無線戸別受信機を配備し、情報伝達体制の強化を図った。



【令和元年度の主な取組み予定】

【避難所設置・運営訓練】

市内小学校を会場に9月7日（予定）、平川市避難所運営マニュアルに基づき、発災初期の応急対応を主眼とした避難所設置・運営訓練を実施し、市担当部局及び自主防災組織の対応能力の向上並びに意識高揚を図るとともに、関係機関の連携を確認する。



【市内小学校を対象とした防災教育】

市内小学校を対象に、教育部局と連携しながら、教育施設の避難所機能及び風水害等発災時の備えをテーマとした防災講演会を実施し、児童及び学校管理者に対する防災意識の高揚を図る。



【要配慮者利用施設による避難訓練】

避難確保計画に基づき施設が実施する避難訓練において、市防災部局との情報の連携体制を確認し、応急体制の強化を図る。



岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会 藤崎町 平成30年度主な実施内容及び今後の取組予定

【平成30年度の主な実施内容】

- ・ 洪水ハザードマップ（十川・浪岡川）の作成
- ・ 役場本庁舎機能強化工事の実施
- ・ 災害に備えた町防災訓練の実施
- ・ 自主防災組織体験研修会の実施



自主防災組織体験研修会（平成30年12月12日実施）

【令和元年度の主な取組み予定】

- ・ 洪水ハザードマップ（十川・浪岡川）の作成及び町民向け地域座談会の開催
- ・ 町防災訓練の継続実施
- ・ 藤崎町地域防災計画の見直し
- ・ 防災士育成事業補助金を活用した防災士の育成



町防災訓練での避難訓練（平成30年7月8日実施）

岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会 板柳町 平成30年度主な実施内容及び今後の取組予定

【平成30年度の主な実施内容】

【助成金を活用し救命胴衣200着整備】



【H30.6.17 弘前市で行われた水防工法訓練に参加】



【その他水防活動用資機材の整備・点検、無線機器の点検を継続的に実施】

【令和元年度の主な取組み予定】

【水防工法訓練に参加予定】

【その他水防活動用資機材の整備・点検を継続的に実施】

【水防活動時における連絡体制の確保をはかるための通信機器の増強を検討】

岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会 鶴田町 平成30年度主な実施内容及び今後の取組予定

【平成30年度の主な実施内容】

- ・ 避難所に災害時用公衆電話回線敷設。
（15箇所）
- ・ 非常用飲料水 555ml×2,400本を備蓄。
- ・ 県防災危機管理課と共同主催で自主防災
体験研修会を開催。



【令和元年度の主な取組み予定】

- ・ 岩木川水系十川ハザードマップ作成。
- ・ 地域防災計画見直し検討。

岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会 大鰐町 平成30年度主な実施内容及び今後の取組予定

【平成30年度の主な実施内容】

- ・大雨、台風に係る水害対応の際に、町のみではなく、水防団である町消防団と綿密に連絡を取り合い、町内の警戒、パトロール及び情報収集を重点的に行った。
- ・平成30年度出水期は、大雨や台風が多かったため、水害対応に備え、町職員が土のうを計230袋作成し、備蓄と合わせて、800袋の土のうを役場車庫に備え、いつでも配布できるようにした。
また、町消防団にも緊急時に備え、土のうを配布した。

■役場車庫に常備している土のう



【令和元年度の主な取組み予定】

- ・令和元年（平成31年）9月28日（日）に開催予定の大鰐町総合防災訓練で、平成30年度に実施できなかった、関係機関と連携した水防訓練を実施し、各機関との連携や水防工法の確認を行う。
- ・出水期の水害対応に備え、水防団である町消防団との連携を強化し、綿密な町内の警戒、パトロール及び情報収集を継続する。

■平成29年度の防災訓練の様子



田舎館村 平成30年度主な実施内容及び今後の取組予定

【平成30年度の主な実施内容】

- ・ 想定最大規模の洪水での避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知。
- ・ 関係機関と連携し、地域住民や水防団員とともに危険箇所の確認等（合同巡視）を実施する。
- ・ 自主防災組織の新規設立をサポート。
- ・ 水防活動用土のうの作成、備蓄。



【令和元年度の主な取組み予定】

- ・ 田舎館村地域防災計画の見直し
- ・ 関係機関と連携し、地域住民や水防団員とともに危険箇所の確認等（合同巡視）を実施する。
- ・ 水防団員の連絡体制の強化をはかる。
- ・ 自主防災組織の新規設立をサポート。
- ・ 水防活動用土のうの作成、備蓄。

西目屋村 平成30年度主な実施内容及び今後の取組予定

【平成30年度の主な実施内容】

《水防訓練の実施》

平成30年7月15日（日）に西目屋村消防団及び弘前市消防団第5方面団東目屋地区団合同による水防訓練を実施。

訓練は、弘前消防署目屋分署員の指導のもとで土のう作成及び積み土のう工法訓練が行われた。

なお、訓練後、土のうは西目屋村防災倉庫及び東目屋地区団の各屯所に保管された。

《備蓄用非常食の購入》

- ・非常用飲料水（5年保存） 500ml×192本
- ・長期保存用野菜ジュース 190g×60本
- ・野菜スープ（きのこスープ）160g×60袋
- ・乳幼児用ミルク（スティックタイプ）
10本入り×10箱

【令和元年度の主な取組み予定】

《水防資機材の購入》

土のう袋の購入 100袋（予定）

《非常食の購入》

今年度中で賞味期限をむかえる非常食の更新を行う。

- ・ウイナソーセージ 缶詰 48缶
（賞味期限：R2(H32).3.13)
- ・ひじき入り五目煮缶詰 48缶
（賞味期限：R1(H31).11.18)
- ・さんま蒲焼き缶詰 60缶
（賞味期限：R1(H31).12.1)

※購入にあたっては、1日あたり必要栄養量を考慮して購入する。

岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会 青森県河川砂防課 平成30年度主な実施内容

【平成30年度の主な実施内容】

○危機管理型水位計等の設置

- ・住民避難や水防活動に資する基盤整備として、危機管理型水位計を県管理河川82河川82基設置(H31.3月末時点)
- ・当協議会の対象は、十川及び土淵川等22河川22箇所を設置

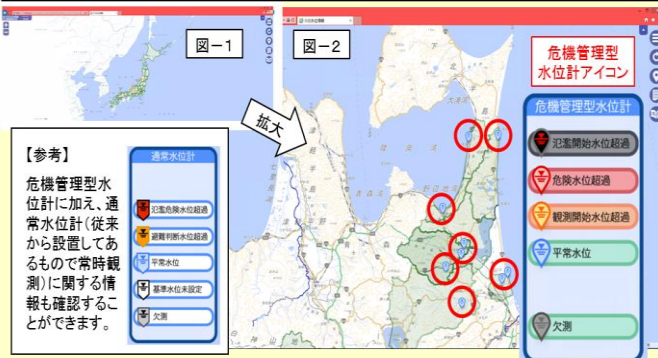


危機管理型水位計を
22河川22箇所に設置

設置市町村	設置河川
五所川原市	相内川、山王川、桂川、天神川、十川、前田野目川
弘前市	前菟川、土淵川、寺沢川、腰巻川、蔵助沢川
青森市	大釈迦川、赤川、正平津川、本郷川
平川市	六羽川、枇杷田川、浅井川
中泊町	尾別川、宮野沢川
大鰐町	折紙川、島田川

危機管理型水位計による観測水位の閲覧方法

① インターネットで「川の水位情報」のページを開くと、図-1の画面が表示され、ご覧になりたい危機管理型水位計のある地域を拡大していくと、危機管理型水位計のアイコンが表示されます(図-2)。



危機管理型水位計



○避難勧告の発令に着目した洪水タイムラインを策定

- ・県管理河川35河川において、避難勧告の発令に着目した洪水タイムラインを策定(H31.3末時点)

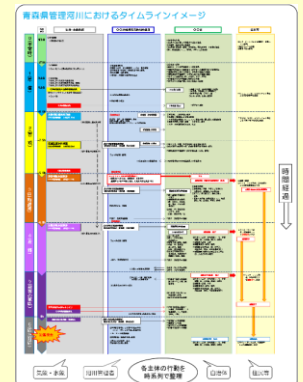
協議会	級	水系	河川	洪水予報河川	水位周知河川	策定年度			沿川市町村 (計画規模による浸水想定区域内)				
						H29	H30	H31					
岩木川	1	岩木川	十川	○	○	◎				五所川原市	鶴田町	藤崎町	板柳町
			旧十川		○	◎				五所川原市			
			松野木川		○	◎				五所川原市			
			金木川		○	◎				五所川原市			
			浪岡川		○	◎				青森市	藤崎町		
			後長根川		○	◎				弘前市			
			平川	○		◎				弘前市	平川市	大鰐町	田舎館村
			腰巻川		○	◎				弘前市			

西北地区 合同検討会実施状況

(H30.9.3撮影)



タイムラインのイメージ



○想定最大規模降雨による浸水想定区域等の作成

- ・十川・浪岡川において、想定最大規模降雨による浸水想定区域等について検討し、結果を県ホームページで公表(平成31年1月23日)

(公表ページアドレス)



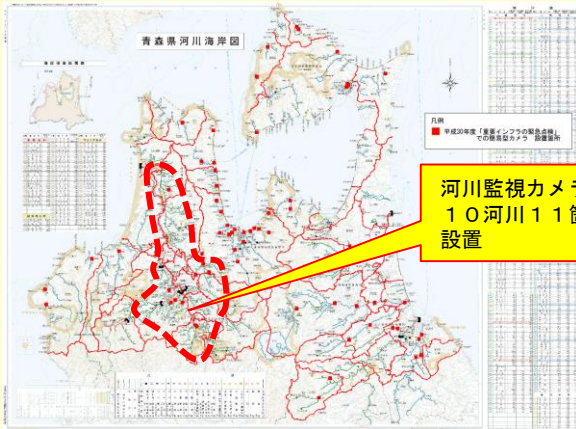
岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会 青森県河川砂防課 今後の取組予定

【令和元年度の主な実施内容】

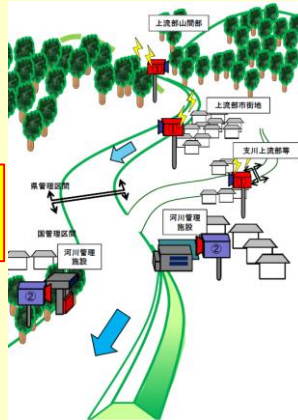
○簡易型河川監視用カメラの設置

- ・ 住民避難や水防活動に資する基盤整備として、簡易型河川監視用カメラを県管理河川65箇所を設置
- ・ 当協議会の対象は、10河川11箇所を設置

河川監視カメラ設置箇所



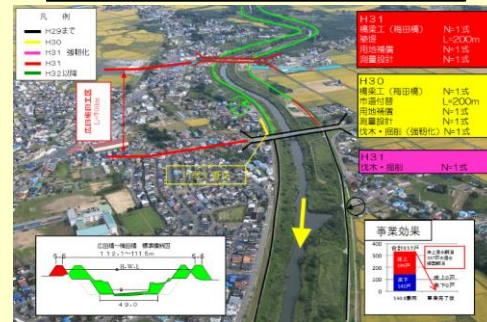
(参考)イメージ
簡易型河川監視用カメラ



○広域河川改修事業の実施

- ・ 平川広域（引座川、大和沢川）、旧十川、十川において広域河川改修事業を継続実施

岩木川水系十川 広域河川改修事業



○想定最大規模降雨による浸水想定区域等の作成

- ・ 平川上流、腰巻川、旧十川、金木川、松野木川、後長根川において、想定最大規模降雨による浸水想定区域等について、結果を県ホームページで公表予定

○緊急排水計画の策定

- ・ 氾濫発生時における氾濫水の排水による浸水継続時間短縮を図るため、緊急排水計画の策定
- ・ 浸水継続時間の短縮により、氾濫被害軽減、緊急輸送路の早期確保及び被災地の早期復旧等が図られる

国土交通省ポンプ車



設置市町村	設置河川
五所川原市	十川
弘前市	後長根川、土淵川、腰巻川、寺沢川
青森市	大釈迦川、赤川、本郷川
中泊町	宮野沢川
大鰐町	平川(宿川原、虹貝)

防災危機管理課 平成30年度主な実施内容及び今後の取組予定

【平成30年度の主な実施内容】

○防災教育や防災知識の普及

- ・「青森県防災ハンドブック」の全世帯（約56万）配布による防災意識の普及啓発



- ・青森市、中泊町などで防災全般に関する出前講座を計12回開催（357人聴講）



- ・自主防災組織未結成の町内会役員を対象とした体験研修会を計12回開催（496人聴講）
- ・防災体制の強化と地域住民の防災意識の高揚を図るため、平川市において青森県総合防災訓練を実施（参加者約3,500人）

【令和元年度の主な取組み予定】

○防災教育や防災知識の普及

- ・人口減少に応じて対応できる地域防災体制を構築するため、次代を担う子どもたちを対象とした防災教育活動支援ツールの検討を行うとともに、教育関係者やPTA等地域住民を対象とした啓発活動を実施
- ・昨年度に引き続き、出前講座や自主防災体験研修会を開催
- ・青森県総合防災訓練は8月27日に三沢市で開催

○市町村が実施する訓練の支援等

- ・7月26日に深浦町で河川の氾濫や土砂災害を想定した深浦町災害対策本部図上訓練を実施予定

○市町村に対する避難対策等への助言・指導

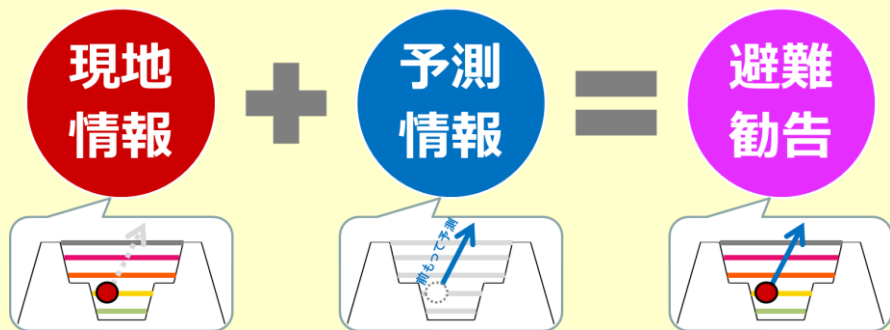
- ・避難勧告等の発令基準作成や避難対策等への助言・指導
- ・情報伝達手段の強化などの避難対策について市町村担当課長会議や地域懇談会において、助言・指導を行う

岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会 青森地方気象台 平成30年度主な実施内容及び今後の取組予定

【平成30年度の主な実施内容】

平成29年度から開始した危険度分布情報を、市町村の防災担当者や住民が、現地情報と合わせることで、避難勧告や避難開始を判断できるように周知・啓発を実施。

市町村長の避難勧告
住民の主体的避難



色が持つ意味	説明	内閣府のガイドラインの発令基準に対応する避難情報
極めて危険 すでに基準Ⅲに到達	流域雨量指数の実況値が過去の重大な洪水発生時に匹敵する値にすでに到達。重大な洪水害がすでに発生しているおそれが高い極めて危険な状況。	
非常に危険 3時間先までに基準Ⅲに到達すると予測	水位周知河川・その他河川がさらに増水し、今後氾濫し、重大な洪水害が発生するおそれが高い。水位が氾濫注意水位等を越えている場合には速やかに避難を開始する。	氾濫注意水位等を越えていれば 避難勧告
警戒(警報級) 3時間先までに基準Ⅱに到達すると予測	水位が水防団待機水位等を越えている場合には避難の準備をして早めの避難を心がける。高齢者等は速やかに避難を開始する。	水防団待機水位等を越えていれば 避難準備 ・高齢者等避難開始
注意(注意報級) 3時間先までに基準Ⅰに到達すると予測	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に注意する。	
今後の情報等に留意	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	

【令和元年度の主な取組み予定】

地域防災支援を強化します。

平時から緊急時まで、常に地域に寄り添います。

平時

- 市町村訪問等の「顔の見える関係」の強化
- 災害リスクや気象情報利活用に関する研修・訓練への協力
⇒ 訓練シナリオ作成、ワークショップ、勉強会等
- 地域防災計画や避難勧告マニュアル修正への協力
- 日頃からの予報官コメントやメール等による解説
- 協議会等との日頃からの連携

緊急時

- 台風等説明会
- 予報官コメント、ホットライン
⇒ 利用者の立場に立った、情報提供
- JETTの派遣
⇒ 気象台職員を迅速に派遣

岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会 青森河川国道事務所 平成30年度主な実施内容

【平成30年度の主な実施内容】

●防災教育の支援

五所川原市立南小学校において、防災教育授業を実施
(1/29~31)



●洪水対応演習

本格的な洪水を想定し、タイムラインに基づく防災体制の確認訓練(4/20)



●「洪水に対しリスクが高い区間」の共同点検

水防団や地域住民、防災エキスパート及び行政機関が参加し合同巡視を実施。(7/2,13)



リスクが高い区間の現地説明



地域住民の方々 防災エキスパート・水防団の方々 担当者による説明



●要配慮者利用施設の避難確保計画作成の支援

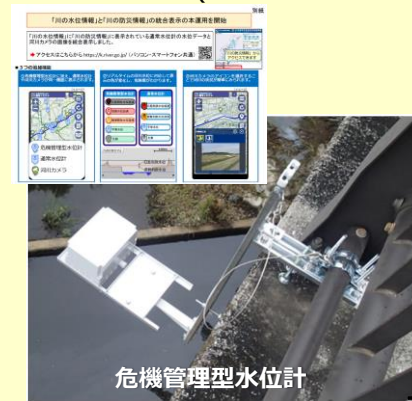
五所川原市において、洪水ハザードマップ区域内にある要配慮者利用施設管理者に対し、講習会を実施。(9/14)



五所川原市での実施状況

●危機管理型水位計の設置

直轄管理 3 河川 9 基設置
(H31.3月末時点)



危機管理型水位計

●関係機関が連携した水防訓練の実施

各関係機関及び消防団員等が防災エキスパートから指導を受けロープワーク及び水防工法の訓練を実施。(6/17)



月の輪工






シート張り工



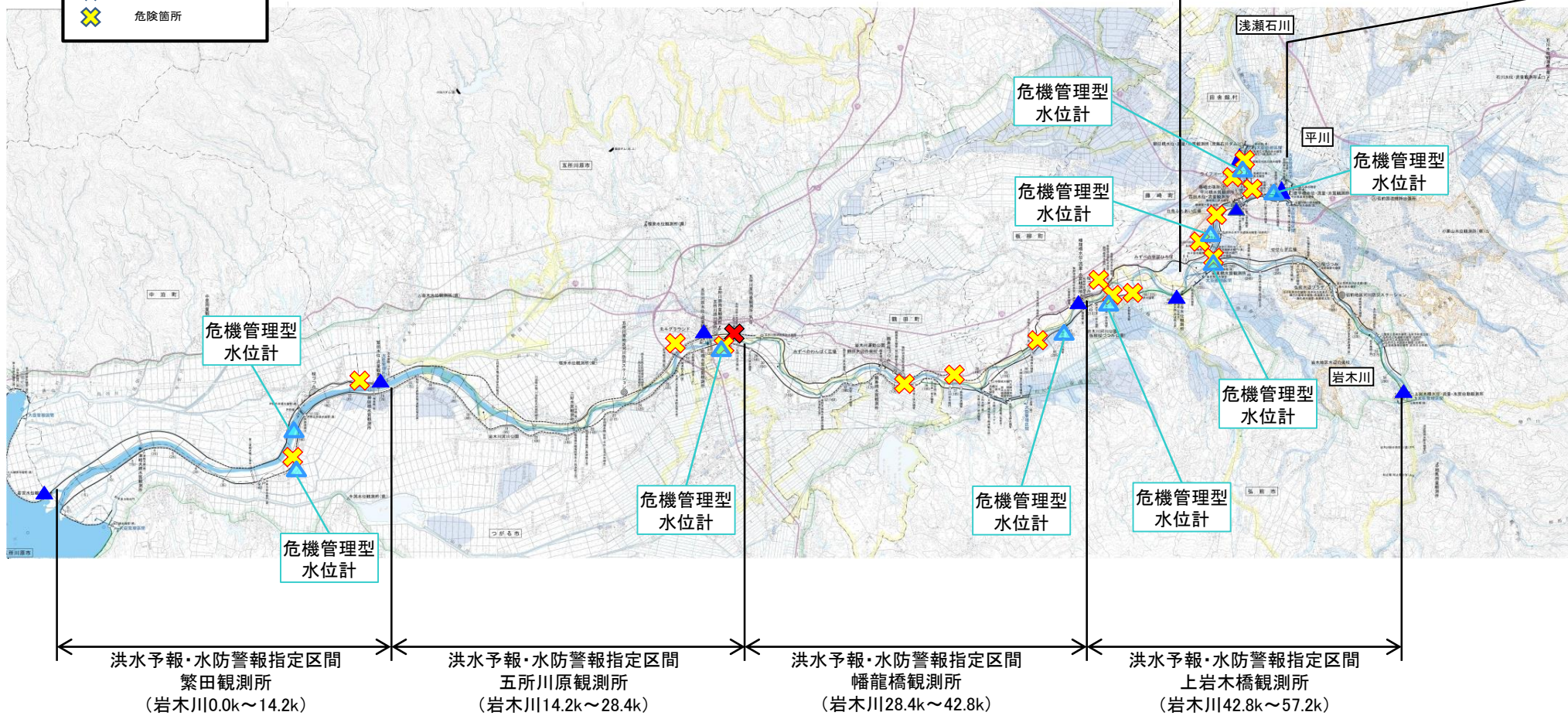
ロープワーク (縄結び)

H30 危機管理型水位計 設置位置図

- 凡 例**
-  水位観測所
 -  危機管理型水位計
 -  危険箇所(特定区間)
 -  危険箇所

H30設置
危機管理型水位計: 9基

洪水予報・水防警報指定区間
(百田観測所)
平川0.0k~6.2k 浅瀬石川0.0k~2.0k

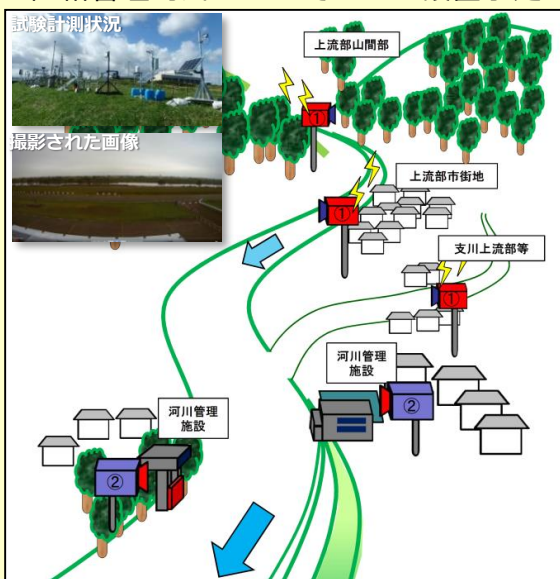


岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会 青森河川国道事務所 今後の取組予定

【令和元年度の主な取組み予定】

●簡易型河川監視カメラの設置

簡易型河川カメラを設置予定。身近な画像情報の提供で住民に切迫感を伝えます。直轄管理河川において14基設置予定。



①無線式簡易型河川監視カメラ

屋外に容易に設置可能でかつ、電源・通信ともにワイヤレスで運用可能なカメラ

②有線式簡易型河川監視カメラ

屋外に容易に設置可能でかつ、初期導入コストが安価なカメラ

●緊急行動計画の改定に伴う、岩木川等の減災に係る取組方針の変更および発表

●危機管理型水位計の設置

直轄管理河川において5基設置予定。



●防災教育の支援

小学生を対象として防災教育を実施予定。



【洪水その時あわてないために】

洪水を防ぐために、国土交通省では、さまざまなことを行っています。



●緊急排水計画（案）の作成

排水機場・樋門・水門等の情報共有、浸水区域内の自然勾配を踏まえた排水の検討を行い、大規模水害を想定した緊急排水計画（案）の作成を完了予定。 - 21 -

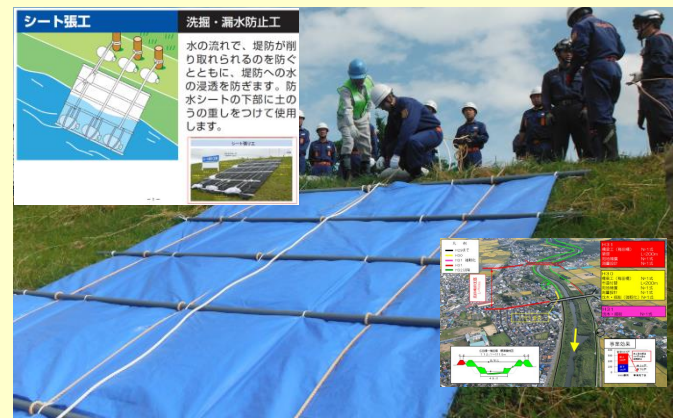
●「洪水に対しリスクが高い区間」の共同点検

水防団や地域住民、防災エキスパート及び行政機関が参加し合同巡視を実施予定。



●関係機関が連携した水防訓練の実施

各関係機関及び消防団員等合同で水防工法訓練を実施予定。



R1 危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラ 設置予定位置図

- 凡 例**
-  危機管理型水位計
 -  簡易型河川監視カメラ
 -  危険箇所(特定区間)
 -  危険箇所

R1 設置予定
 危機管理型水位計 : 5基
 簡易型河川監視カメラ : 14基

洪水予報・水防警報指定区間
 (百田観測所)

平川0.0k~6.2k 浅瀬石川0.0k~2.0k



岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会

岩木川ダム統合管理事務所 平成30年度主な実施内容及び今後の取組予定

【平成30年度の主な実施内容】

- ダムからの放流情報について「放流通報連絡会」の機会を活用し、岩木川下流端の市町村まで放流情報等を共有できるように、説明会を実施。



- 防災教育の一環として流域市町村の小学校からの社会科見学等の機会を利用してダムの役割や効果、必要性を説明。

【令和元年度の主な取組み予定】

小・中学生を対象に、出前講座等を活用してダムに関する防災教育を継続する。

平成31年2月15日実施状況
実施場所：岩木川ダム統合管理事務所



岩木川における洪水の歴史や洪水時のダムの役割・効果など、防災に関する内容について出前講座等を実施。

